



平成28年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年11月11日

上場取引所 東

上場会社名 スターツ出版株式会社
 コード番号 7849 URL <http://starts-pub.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 菊地 修一
 (氏名) 金子 弘

TEL 03-6202-0311

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年12月期第3四半期の業績(平成28年1月1日～平成28年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第3四半期	2,840	△1.3	181	41.2	228	32.2	143	50.1
27年12月期第3四半期	2,877	△2.3	128	△11.1	172	3.0	95	△10.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年12月期第3四半期	74.90	—
27年12月期第3四半期	49.89	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭
28年12月期第3四半期	4,362		3,586		82.2	1,868.24
27年12月期	4,386		3,566		81.3	1,857.40

(参考)自己資本 28年12月期第3四半期 3,586百万円 27年12月期 3,566百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
27年12月期	—	0.00	—	30.00	30.00
28年12月期	—	0.00	—		
28年12月期(予想)				30.00	30.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年12月期の業績予想(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,870	△5.4	270	24.7	310	14.9	180	12.5	93.75

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の修正については、本日(平成28年11月11日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年12月期3Q	1,920,000 株	27年12月期	1,920,000 株
② 期末自己株式数	28年12月期3Q	78 株	27年12月期	78 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年12月期3Q	1,919,922 株	27年12月期3Q	1,919,922 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手可能な情報に基づき作成したもので、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は今後の様々な要因によって大きく異なる可能性があります。なお、業績見通し等に関する事項はP. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報の(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の経済・金融政策などの効果もあり雇用・所得環境の改善が継続し、景気は総じて緩やかな回復傾向で推移いたしました。しかしながら、中国を始めとする新興国の景気減速や英国のEU離脱問題など、景気を下押しするリスクが存在しており、先行きは依然として不透明な状況にあります。

一方、当社が属する出版業界におきましては、スマートフォンやタブレット端末等の普及により情報伝達手段の多様化が進み、紙メディアの市場は近年においてさらに縮小してきております。このような環境の中で、当社は「感動プロデュース企業へ」という企業ビジョンを具現化する中期戦略に基づき、「東京マーケティングドメイン」、「投稿コンテンツドメイン」、「地域密着ドメイン」の3つの事業ドメインにおいて、経営資源の「選択と集中」を図ってまいりました。

このような営業活動の結果、当第3四半期累計期間の売上高は28億40百万円（前年同期比1.3%減）、営業利益は1億81百万円（前年同期比41.2%増）、経常利益は2億28百万円（前年同期比32.2%増）、四半期純利益は1億43百万円（前年同期比50.1%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

<東京マーケティングドメイン>

東京マーケティングドメインにおきましては、東京圏で、オリジナルのマーケティング・モデルを創造するという戦略のもと、「厳選店舗マーケティング」と「体験価値マーケティング」を軸に事業を展開してまいりました。

「厳選店舗マーケティング」は、女性向けウェブサイト「オズモール」（会員数：250万人）の成功報酬型の送客サービス「オズのプレミアム予約」シリーズを中心に展開し、独自基準で厳選したビューティーサロン、ホテル、レストランなどの利用予約サービスを提供しております。送客手数料売上につきましては、新サービスの拡充や予約可能施設の増加などの施策が奏功し、前年同期と比較して堅調に推移しております。また、「オズモール」は、本年7月に大規模なリニューアルを実施しており、UX向上を意識しサイトデザインを一新するとともに、「オズのプレミアム予約」シリーズと連動して利用者の体験につながる「グルメ」「旅」「ビューティ・暮らし」に関するニュースの配信を強化しております。「体験価値マーケティング」では、「オズモール」や女性向けライフスタイル誌「オズマガジン」、フリーマガジン「メトロミニッツ」などのメディアを展開しております。雑誌の販売・広告売上につきましては市場の縮小の影響もあり、前年同期と比較して減少致しました。費用面におきましては、雑誌制作体制の見直しによりコストを削減し、収益構造を改善した一方で、「オズモール」のシステム開発およびSEO対策に対して重点的に投資を実施しております。

このような営業活動の結果、東京マーケティングドメインの売上高は20億71百万円（前年同期比1.9%減）、営業利益は1億50百万円（前年同期比14.9%増）となりました。

<投稿コンテンツドメイン>

投稿コンテンツドメインにおきましては、ターゲット別小説投稿サイトの運営と書籍の発行を継続的に行っております。小説投稿サイトにおきましては、若年層向けのケータイ小説投稿サイト「野いちご」（会員数：74万人）と20代から40代の女性向けの小説サイト「Berry's cafe」（会員数：54万人）を運営しております。また新たな取り組みとして電子コミックの分野にも注力しており、本年8月には電子コミック誌「comic Berry's」を創刊し、今後は連載作品の電子コミック（単行本）化を予定しております。

当第3四半期累計期間の書籍の販売売上は、前年同期と比較して好調に推移しており、ヒット作となった『僕は何度でも、きみに初めての恋をする。』『一瞬の永遠を、きみと』をはじめとする「スターツ出版文庫」シリーズが売上に寄与しております。また、20代から40代の女性向けの「ベリーズ文庫」も、読者から安定的な支持を得て堅調に売上が増加しております。費用面におきましては、書籍の販売売上が増加したことにより、将来の返品に係わるリスクに備えて設定する返品調整引当金が前年同期と比較して増加しております。

このような営業活動の結果、投稿コンテンツドメインの売上高は6億48百万円（前年同期比32.6%増）、営業利益は90百万円（前年同期比2.5%減）となりました。

<地域密着ドメイン>

地域密着ドメインにおきましては、地域に密着して信頼の輪を広げ、地域の活性化に貢献することを事業の目的とし、地域密着型フリーペーパー「アエルデ」の広告掲載営業活動と企業の販促物の制作請負を行う事業を継続的に展開してまいりました。「アエルデ」におきましては、飲食店等の広告を掲載する広告営業活動を継続的に行ってまいりましたが、紙クーポン広告市場の縮小とスマートフォンの普及による他社の予約サイトとの競争の激化により、前年同期と比較して売上・利益ともに減少しており、本年4月には発行エリアの集約と誌面のリニューアルを行うとともに、人件費などの費用を圧縮し収益構造の見直しを図っております。

このような営業活動の結果、地域密着ドメインの売上高は1億20百万円（前年同期比56.4%減）、営業損失は6百万円（前年同期は営業利益0.1百万円）となりました。

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債、純資産の状況

当第3四半期会計期間末の資産は、前事業年度末と比べ23百万円減少し、43億62百万円となりました。流動資産は、現金及び預金が1億63百万円、仕掛品が29百万円増加した一方で、売掛金が1億99百万円減少したこと等により、前事業年度末と比べ46百万円増加し、33億87百万円となりました。

固定資産は、親会社株式が1億5百万円減少したこと等により、前事業年度末と比べると70百万円減少し、9億75百万円となりました。

（負債）

当第3四半期会計期間末の負債は、前事業年度末と比べ44百万円減少し、7億76百万円となりました。流動負債は、賞与引当金が55百万円、返品調整引当金が43百万円増加した一方で、買掛金が40百万円、未払法人税等が33百万円減少したこと等により、前事業年度末と比べると1百万円減少し、6億13百万円となりました。

固定負債は、前事業年度末と比べると43百万円減少し、1億62百万円となりました。

（純資産）

当第3四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末と比べ20百万円増加し、35億86百万円となりました。これは、利益剰余金が86百万円増加した一方で、その他有価証券等評価差額金が65百万円減少したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期累計期間における現金および現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度に比べ1億63百万円増加し、14億1百万円となりました。

当第3四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、3億54百万円（前年同四半期の得られた資金は5億30百万円）となりました。これは主に、税引前四半期純利益2億24百万円、減価償却費1億3百万円を計上し、売上債権が2億17百万円減少した一方で、法人税等の支払額が1億33百万円発生したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、1億33百万円（前年同四半期の使用した資金は1億33百万円）となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出1億36百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は57百万円（前年同四半期の使用した資金は56百万円）となりました。これは株主への配当金の支払いによるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想に関しましては、当第3四半期累計期間の実績及び最近の業績の動向を踏まえ、通期の業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日（平成28年11月11日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第2四半期会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年12月31日)	当第3四半期会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,237,814	1,401,618
売掛金	1,309,736	1,110,257
製品	26,278	38,919
仕掛品	19,924	49,261
前払費用	34,289	31,030
関係会社預け金	800,000	800,000
繰延税金資産	40,543	60,295
その他	359	934
返品債権特別勘定	△125,585	△102,459
貸倒引当金	△2,759	△2,353
流動資産合計	3,340,601	3,387,504
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備（純額）	16,906	13,815
工具、器具及び備品（純額）	20,450	12,850
有形固定資産合計	37,356	26,665
無形固定資産		
商標権	3,956	3,406
ソフトウェア	316,579	348,582
電話加入権	2,376	2,376
ソフトウェア仮勘定	-	22,025
無形固定資産合計	322,912	376,390
投資その他の資産		
親会社株式	509,010	403,959
投資有価証券	59,383	57,798
差入保証金	98,779	92,424
破産更生債権等	21,423	3,118
貸倒引当金	△18,203	△3,118
その他	15,453	18,183
投資その他の資産合計	685,846	572,365
固定資産合計	1,046,115	975,421
資産合計	4,386,716	4,362,925

（単位：千円）

	前事業年度 (平成27年12月31日)	当第3四半期会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	241,958	200,966
未払金	40,188	42,108
未払法人税等	63,020	29,491
未払事業所税	3,782	2,869
未払消費税等	27,276	8,526
未払費用	24,717	31,247
前受金	24,065	12,485
預り金	36,010	37,711
賞与引当金	18,300	73,600
返品調整引当金	103,061	146,157
ポイント引当金	32,655	28,368
流動負債合計	615,036	613,531
固定負債		
退職給付引当金	14,310	7,008
役員退職慰労引当金	44,800	47,900
繰延税金負債	146,498	107,601
固定負債合計	205,608	162,510
負債合計	820,645	776,041
純資産の部		
株主資本		
資本金	540,875	540,875
資本剰余金	536,125	536,125
利益剰余金	2,149,939	2,236,139
自己株式	△189	△189
株主資本合計	3,226,749	3,312,949
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	339,320	273,934
評価・換算差額等合計	339,320	273,934
純資産合計	3,566,070	3,586,884
負債純資産合計	4,386,716	4,362,925

（2）四半期損益計算書
（第3四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期累計期間 （自平成27年1月1日 至平成27年9月30日）	当第3四半期累計期間 （自平成28年1月1日 至平成28年9月30日）
売上高	2,877,658	2,840,897
売上原価	2,017,469	1,895,041
売上総利益	860,188	945,855
返品調整引当金戻入額	114,464	103,061
返品調整引当金繰入額	71,887	146,157
差引売上総利益	902,765	902,759
販売費及び一般管理費	774,518	721,628
営業利益	128,246	181,130
営業外収益		
受取利息	3,146	3,090
受取配当金	33,873	37,308
雑収入	8,827	6,751
その他	213	-
営業外収益合計	46,060	47,149
営業外費用		
雑損失	1,669	112
為替差損	32	-
営業外費用合計	1,702	112
経常利益	172,604	228,167
特別損失		
固定資産除却損	-	3,913
特別損失合計	-	3,913
税引前四半期純利益	172,604	224,253
法人税、住民税及び事業税	112,859	97,856
法人税等調整額	△36,036	△17,400
法人税等合計	76,823	80,456
四半期純利益	95,780	143,797

（3）四半期キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第3四半期累計期間 （自 平成27年1月1日 至 平成27年9月30日）	当第3四半期累計期間 （自 平成28年1月1日 至 平成28年9月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	172,604	224,253
減価償却費	101,548	103,335
固定資産除却損	-	3,913
貸倒引当金の増減額（△は減少）	9,837	△15,490
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	44,800	3,100
賞与引当金の増減額（△は減少）	55,700	55,300
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△1,795	△7,301
返品債権特別勘定の増減額（△は減少）	△30,200	△23,125
返品調整引当金の増減額（△は減少）	△42,576	43,096
ポイント引当金の増減額（△は減少）	△993	△4,286
受取利息及び受取配当金	△37,019	△40,398
売上債権の増減額（△は増加）	368,238	217,783
たな卸資産の増減額（△は増加）	△24,243	△41,977
その他の資産の増減額（△は増加）	△1,824	2,669
仕入債務の増減額（△は減少）	△10,614	△40,992
未払金の増減額（△は減少）	△13,623	△10,981
未払消費税等の増減額（△は減少）	△28,888	△18,750
その他の負債の増減額（△は減少）	5,093	△4,261
その他	△2,983	2,535
小計	563,058	448,421
利息及び配当金の受取額	37,030	40,398
法人税等の支払額	△69,835	△133,921
営業活動によるキャッシュ・フロー	530,253	354,898
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△10,390	△246
無形固定資産の取得による支出	△112,015	△136,677
保険積立金の積立による支出	△2,715	△2,715
差入保証金の差入による支出	△8,588	-
差入保証金の回収による収入	-	6,355
その他	△282	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△133,993	△133,284
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△56,969	△57,810
財務活動によるキャッシュ・フロー	△56,969	△57,810
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	339,290	163,804
現金及び現金同等物の期首残高	942,685	1,237,814
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,281,976	1,401,618

（4）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間（自 平成27年1月1日 至 平成27年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	東京マーケティング ドメイン	投稿コンテンツ ドメイン	地域密着 ドメイン	計	調整額(注)	四半期損益 計算書計上額
売上高 外部顧客への 売上高	2,112,494	489,214	275,949	2,877,658	—	2,877,658
セグメント間 の内部売上高又 は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,112,494	489,214	275,949	2,877,658	—	2,877,658
セグメント別営 業利益	131,037	93,214	195	224,447	△96,200	128,246

（注）セグメント利益の調整額△96,200千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用になります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期累計期間（自 平成28年1月1日 至 平成28年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	東京マーケティング ドメイン	投稿コンテンツ ドメイン	地域密着 ドメイン	計	調整額(注)	四半期損益 計算書計上額
売上高 外部顧客への 売上高	2,071,957	648,725	120,214	2,840,897	—	2,840,897
セグメント間 の内部売上高又 は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,071,957	648,725	120,214	2,840,897	—	2,840,897
セグメント別営 業利益	150,622	90,817	△6,266	235,173	△54,043	181,130

（注）セグメント利益の調整額△54,043千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用になります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。